

# こどもも工作教室 - おうちでつくってみよう -

## かけじく 掛軸をつくろう！

### かけじく ひょうそう し 掛軸（表装）について知ろう！

ひょうそう  
表装とは？

え しょ かみ めの つか ほご うつく み ととの かざ  
絵や書を紙や布を使って保護し、より美しく見えるように整え、飾ることが  
でき ひょうそう ひょうそう こんかい こうさく ちょうせん かけじく  
出来るようにすることを表装といいます。表装には今回の工作で挑戦する掛軸  
ひょうぶ まきもの ふすま ふく  
のほか、屏風や巻物、襖なども含まれます。  
こんかい こうさく ひょうそう だいひょう かけじく ちょうせん かけじく  
今回の工作では表装の代表、掛軸に挑戦しています。掛軸とはイラストのよう  
に、さくひん かべ  
作品を壁などにかけることが出来るようにしたものです。

#### ぶぶん 【それぞれの部分について】

本紙（ほんし）：

え しょ さくひんじたい  
絵や書などの作品自体を本紙（ほんし）といいます。

一文字（いちもんじ）：

ほんじ うえ した ぶぶん かけじく  
本紙のすぐ上と下の部分を一文字（いちもんじ）といいます。掛軸のアクセ  
ぶぶん せんたい つか かみ めの き  
ントとなる部分ですので、全体とのバランスをみて使う紙や布を決めます。

天地（てんち）：

ほんし いちもんじ じょうげ ひろ ぶぶん うえ てん  
本紙と一文字の上下に広がる部分を天地（てんち）といいます。上が「天」、  
した ち  
下が「地」です。

柱（はしら）：

ほんし さゆう ぶぶん い いっぱんてき てんち おな ざいりょう しょう  
本紙の左右の部分を柱（はしら）と言います。一般的に天地と同じ材料を使用  
します。

### すこ くわ もう少し詳しく！

かけじく さまざま かたち けいしき え しょ さくひん かたち き  
掛軸には様々な形（形式）があり、絵や書など作品のジャンルによってふさわしい形が決められています。  
こんかい こうさく ごてんやましようがいがくしゅうびじゅつ しょう ざくひん いちばんおお  
今回の工作では御殿山生涯学習美術センターが所蔵している作品に一番多い「丸表装（まるびょうそう）」  
かたち かけじく ちょうせん ほか え うえ ぶぶん よ ほそなが めの  
という形の掛軸に挑戦しました。他にも絵の上の部分に「風袋（ふうたい）」と呼ばれる細長い布をつけるものなど、  
さまさま かたち かけじく え み ひょうそう ちゅうもく  
様々な形の掛軸があります。絵を見るときはぜひ、表装にも注目してみてくださいね！